

(様式)

令和6年度年度 剣道部の指導方針等について

令和6年4月21日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	持田 徹也	野島 哲二	剣道教士七段	週4回程
副顧問	迎 臨太郎	似内 ゆかり	剣道 五段	月3回程
副顧問		車田 仁之	剣道教士七段	月2回程

2 年間目標

- 1 学校経営方針にある「キャリア教育」の実践
稽古だけでなく日々の学習を大切にする。特に家庭学習時間の確保を徹底する。
- 2 東京都代表として活躍
関東大会出場を目指す
- 3 社会人として必要な資質を身に付ける
勝利至上ではなく、稽古・試合に取り組む姿勢を大切にして特に自他の生命を尊重にする。

3 指導方針

- 1 短時間で集中
稽古時間は、平日2時間 休日2時間30分（準備体操・休憩含む）とし、集中して取り組むとともに、「考える・工夫する」ことを徹底する。
- 2 ON・OFFをしっかりと
メリハリをつけて活動する。
- 3 TPOを考えての生活
礼儀・言葉遣い・所作を普段の生活からしっかり考え、他人に不快感を与えることのないようにする。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
 - ・理論的な指導を中心にし、個々の稽古内容の必要性を理解させた上で展開する。
 - ・常に生徒・保護者からの声を大切にし、定期的に保護者会・生徒ミーティングを開き、情報交換に努める。
 - ・顧問、外部指導員との意思の疎通をはかり、体罰・暴言が絶対に無い指導を徹底する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
 - ・いかなる場合でも「暴力による問題解決は存在しない」ことを日頃からの指導で徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
 - ・指導の中心は顧問であり、外部指導員はその補佐が中心であるという基本的な方針であることをもとに意思の疎通を図り指導を行う。
- (4) 事故防止
 - ・生徒の状況（体力・技術・心身のバランス）を把握して計画・指導実践する。
 - ・無理は絶対にせず、必要に応じて自発的に休憩等をするように伝える。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	新入部員受け入れ 関東大会東京都予選 部員ミーティング
	5	剣道部保護者会（指導方針・年間計画を説明） インターハイ支部予選 地域剣道大会係員
	6	インターハイ東京都予選
	7	夏季合宿前健康診断
	8	夏季合宿（校内合宿 4 泊 5 日） 合同稽古会参加 練習試合
2 学期		秋季大会
	9	練習試合
	10	練習試合
	11	支部大会 練習試合
	12	東京都国公立大会 練習試合
3 学期	1	練習試合 寒稽古 新人戦
	2	練習試合
	3	練習試合 全国高等学校柴田旗・大野杯争奪剣道大会

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。